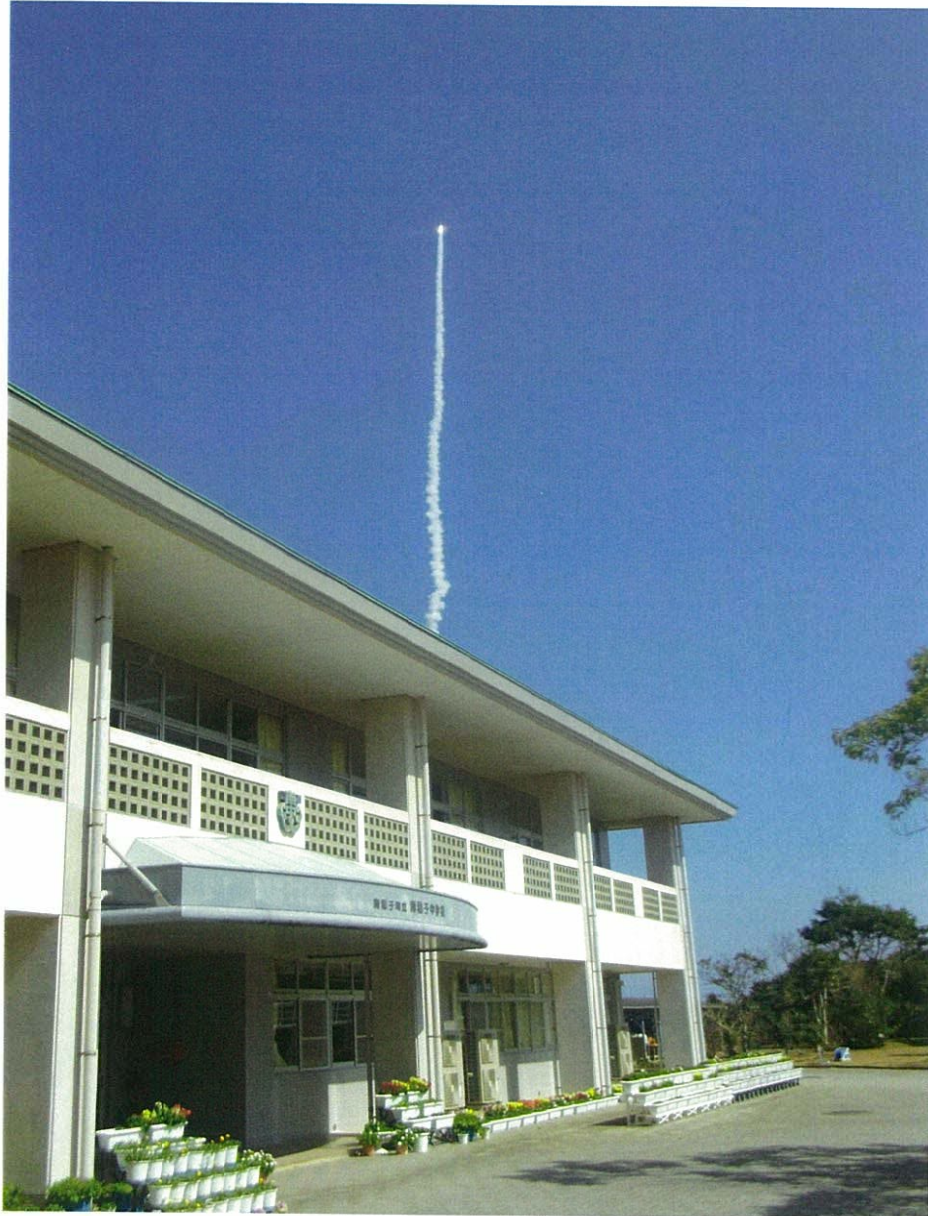


平成29・30年度
鹿児島県租税教育研究委嘱校

租税教育の実際



平成30年11月22日
南種子町立南種子中学校

目次

I	はじめに	1
1	南種子町の概要	1
2	南種子中学校の概要	1
II	研究の概要	2
1	研究主題	2
2	研究主題設定の理由	2
3	研究の仮説	2
4	研究目標	2
5	研究組織	2
6	研究の経過	3
III	研究の実際	4
1	租税教室	4
2	親子で考えよう租税教室	8
3	家庭教育学級	14
4	職員研修	15
5	各教科の取り組み	15
6	生徒の作品	18
IV	研究の成果と課題	20
1	研究の成果	20
2	今後の課題	20
3	おわりに	20

I はじめに

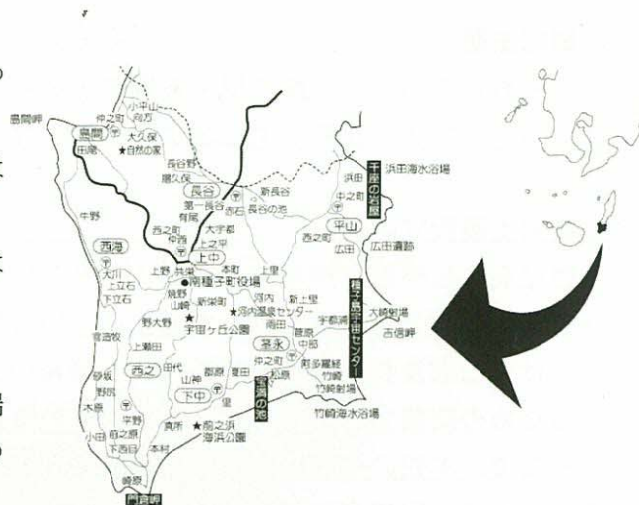
1 南種子町の概要

南種子町は、大隅諸島の一つである種子島の南端に位置し、起伏の多い丘陵地帯で、中央は海拔200m、中央から西部にかけては、河川が多く、流域には水田が広がっている。

1543年（天文12年）、ポルトガル人が乗った明国船が最南端の門倉岬に漂着し、鉄砲伝来の地として歴史的な由来を持つ。

現在は、日本の科学技術の粋を集めた種子島宇宙センターがあることで知られ、歴史と未来が共存する町である。

安納芋やサトウキビ、超早場米「コシヒカリ」の出荷など、その温暖な気候と恵まれた農地を活かした農業が、この町の基幹産業になる。また、360度を海で囲まれた島は、海に吹く心地よい風が良い波を種子島に運び、サーファーの心を躍らせるサーフポイントが無数にある魅力的な島である。



2 南種子中学校の概要

南種子町には、中平・荃南・西野・島間・平山の5中学校が設置されていたが、過疎の進行や生徒数の減少などにより5中学校が1校に統合され、平成6年4月6日に南種子中学として開校した。本年度で26年目を迎える。本校は、町のほぼ中央の高台に位置し、野球場やテニスコート4面も含め広い敷地面積を保有するなど、恵まれた環境である。生徒数は減少しているが、町内8つの小学校を校区とし、現在134名が在籍している。

「創造・敬愛・鍛錬」の校訓のもと、「社会を生き抜くために生涯にわたって学び、考え、行動できる生徒を育成する。」を学校教育目標に、教師と生徒がともに日々の活動に取り組んでいる。

生徒は、素直で明るく、文武両道に励んでいる。本校では、様々な場面で「縦割り」の班編制を取り入れている。無言清掃、体育祭での応援団や「ロケット音頭」の練習、総合的な学習の時間の農園作業などで、縦割りのグループそれぞれで、3年生が1・2年生の良きお手本となるように活動している。

校章



II 研究の概要

1 研究主題

租税教育を通して、税に関する興味・関心をもたせるとともに、正しい知識を身につけ、社会に貢献しようとする生徒を育成する。

2 研究主題設定の理由

鹿児島県租税教育推進協議会によると、鹿児島県における租税教育のねらいは、「租税に関連した事項を通して郷土について関心を高め、公民としての資質を身につけ、国家及び社会における権利と義務の主体者として、自主的に判断し行動するための諸能力を育てる」と示されている。

そこで、本校の生徒の現状から租税教育を通して税に関する興味・関心を高めるとともに、家庭や地域と連携を図りながら、正しい知識を身につけることで、主体的に社会に貢献しようとする態度や資質を育成することができ、本校の教育目標「社会を生き抜くために生涯にわたって学び、考え、行動できる生徒を育成する。」を達成することができると考え、本研究主題を設定した。

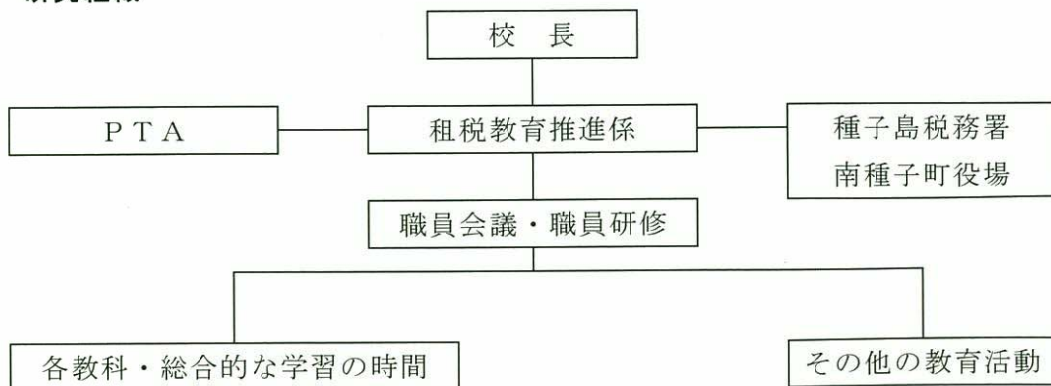
3 研究の仮説

各教科や総合的な学習の時間、授業参観、PTA家庭教育学級等に租税教育を取り入れることで、税に関する興味・関心を高め、正しい知識を身につけ、税への主体的に社会に貢献しようとする態度や資質を育成することができるのではないかと。

4 研究目標

- (1) 家庭との連携を図りながら、税に関する興味・関心を高める。
- (2) 税金の使い道について正しく理解する。
- (3) 身の回りのものと税の関わりを知り、公共物を大切にすることを育む。

5 研究組織



6 研究の経過

<平成29年度>

月	内 容
5	研究委嘱を受ける
6	研究主題・計画等の打ち合わせ 焼酎「南宙」用芋植え
7	租税教室の打ち合わせ・開催(南種子町役場税務課) 税に関する作品募集
8	税の作品作成 芋畑除草作業(出校日2回)
9	税に関する作品の応募
10	租税教室講師養成研修会参加
11	焼酎「南宙」用芋収穫, 出荷
12	県租税教育研究会への参加
1・2・3	職員研修(租税教育について) 税務署より 3年生授業参観「消費税増税について考える」 税務署長とT・T 焼酎「南宙」申し込み, 販売

<平成30年度>

月	内 容
5	3年生授業参観(税について)
6	租税教室・家庭教育学級打合せ(税務署)
7	租税教室(全学年) 税に関する作品募集 職員研修(租税教育について)
8	税の作品作成 芋畑除草作業(出校日2回)
9	税に関する作品の応募
10	県租税教育研究会に向けての準備
11	県租税教育研究会への参加・発表 焼酎「南宙」用芋収穫, 出荷
1	租税教育の総括
2・3	3年生授業参観「消費税増税について考える」(予定) 焼酎「南宙」申し込み, 販売

Ⅲ 研究の実際

1 租税教室

(1) 平成29年度租税教室 ～平成29年7月11日(火)6校時実施～

生徒が家庭生活や学校生活を送る中で、たくさんの税によって支えられていることや、税の役割について気付かせ、日常生活のあり方を考えさせる目的で実施した。税への関心を持たせるために、税の種類やその使われ方、DVD「アナザーワールド」の視聴など、生活に密着した身近なところからはじめて、租税教室を行った。

例年、租税教室は3年生を対象としていたが、今年度は全校生徒を対象とした。早い段階から税への興味・関心をもたせることをねらいとし、1学期に税について学ぶことで、夏休みに実施する「税に関する作品の募集」等に多くの生徒が取り組み、さらに税に関する理解を深めることができるのではないかと考えたからである。

平成29年度 租税教室

- | | |
|------|--|
| 1 目的 | ① 身近な税についての理解を深めさせる。
② 税の役割に気付かせ、日常の生活のあり方を考えさせる。 |
| 2 日時 | 7月11日(火)6時間目(社会)
15:20～16:10 |
| 3 対象 | 全校生徒(158名) |
| 4 講師 | 町役場税務課 |
| 5 内容 | ① 講師紹介(2分)
② 課長あいさつ(3分)
③ 講話(40分)
④ 移動・準備(5分)
⑤ 教室で感想を書く(宿題) |
| 6 場所 | 南種子中学校体育館 |



実際の様子と生徒の感想（抜粋）

私たち一人一人がきちんと税金を納めることは、今の日本とこれからの自分たちにとって、とても大切なことだと思います。この意識を忘れずにいたいです。

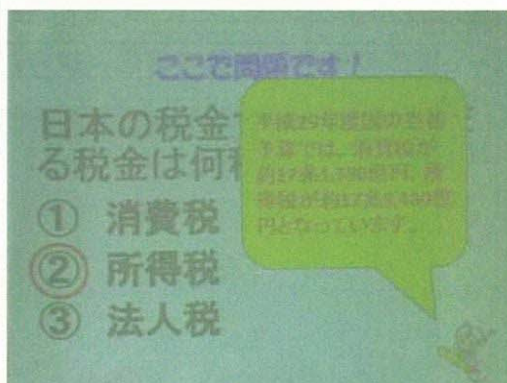
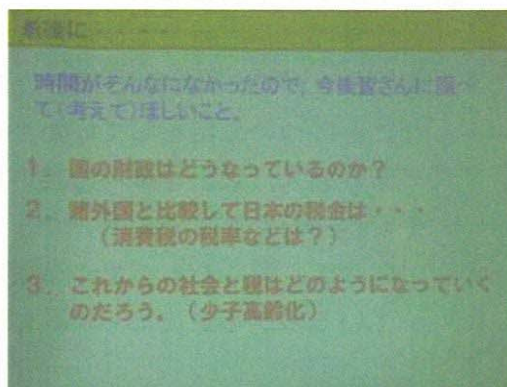
税があることで、今の私たちの生活が成り立っていることを知りました。税は国民全員の義務であるので平等性もあると思うので、この生活を続けていくためにはあるべきだと感じました。

税の話を知ったり、DVDを見たりして、税がどれだけ大切なのかを知ることができました。もし、税金がなかったら道路も整備されないし、教科書も買わないとで、もしかしたら学校にも行けないので、税金って大切なんだと思いました。

税金を納めることは国民の義務であり、それにはちゃんとした理由があることを知りました。

私たちの生活は、税がないとほとんど成り立っていないと思いました。他にも、自分の払っている消費税だけでなく、親の人が払っている税のこともわかりました。そして、フランスやブルガリアの税金の話は、少し面白く笑ってしまいました。

これから、自分の生活の中にある税金に初めて知るものがあったり、どういふ税金なんだろうと疑問が出てきたときは、親に聞いたり、インターネットで調べて少しずつでもわかっていきたいです。また、これからも税の大切さを考えていきたいです。



(2) 平成30年度租税教室 ～平成30年度7月2日(月)5校時実施～

昨年度は、南種子町役場の税務課の方に町での身近な税について話をしていたので、今回は、種子島税務署より講師を招いて主に国家財政の基本的なことについて話をさせていただき、夏休みの課題の参考になるように行った。

国の歳入、歳出を参考に税の種類や使い道などを具体例を挙げながらわかりやすく、話をさせていただいた。また、クイズやDVD視聴もあり、生徒にとって興味深く聞くことができる内容であった。どれだけ税が集められ、何に使われているのかを生徒たちに具体例を示しながらわかりやすく教えていただいた。

実際の様子と生徒の感想(抜粋)



税について知らなかったことばかりで、とても勉強になった。特に、納める税の種類によって、国か県か市町村に分かれることを初めて知った。

中学生は、1年間に100万円以上もの税金がかかっていることを知り、とても驚きました。当たり前にある学校のもの、教科書などですが、今まで以上に大切に扱っていきたいと思いました。

これからは学校のものだけでなく、公共のものなども大切にしていかなければいけい。また、私たちのために働いてくれる警察や消防の方々にも感謝をし、税に対してももっと詳しく知っていきたいです。

税の種類や払い方など、知らないことが多かった。大人になったら今よりたくさん税金を納めなければならないので、税についても少し調べたい。また、教科書も税金なので大切に使いていきたい。

税はなくてはならないものであるということを改めて考える機会となった。日本では約50種類も税があったのかと驚いた。これから大人になっていく私たちは、きちんと税金を納めて、暮らしやすい日本を受け継いでいかなければいけないと感じた。

当たり前の日常は、「税」にも支えられていることを知れた。だから、1日1日を大切にしていきたいと思った。また、学校のものをはじめ、公共物を大切にしようと思った。

自分にできることは公共の物は、税金でできているので大切に使いたいと思いました。次の人が使うときに、気持ちよく使えるように人のことを考えていきたいと思いました。

税を払っていることや消費税のことはよく知っていたけど、他のことについてはあまり知りませんでした。でも話を聞いて知らなかったことを知れたし、クイズもたくさんあっていました。

2 「親子で考えよう租税教室」

【平成29年度】

平成29年度，3年生の2月にある授業参観で種子島税務署の署長さんと共同で税に関する授業を行った。保護者にも税について意識を高めてもらい，家庭での話題にすることで，生徒の意識もより高くなるのではと思い，実施した。時期的に確定申告の話にもふれながら署長さんがわかりやすい資料をもとに説明してくださり生徒も興味を示していた。

本時の流れ

- 1 単元名 税について
- 2 本時の実際
 - (1) 題材 税の意義について考えよう




- (2) 本時の目標

自分たちの暮らしと税のしくみを結びつけて考えることで，身近な暮らしと政治についての理解を深めるとともに，社会に参画していこうとする態度を持つことができるようにする。

- (3) 展開

過程	主な学習内容	指導上の留意点
導入	1 署長さんより 2 税についての復習 3 国の一般会計の歳入・歳出の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・深入りせず簡単に行う。 ・公債金が多いことに気付かせる。
展開	4 本時の学習課題を把握する。 5 消費税率引き上げについて考える。 6 消費税増税について様々な人の立場になって考えてみよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 消費税の増税について，多面的・多角的に考察していこう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・事前のアンケート結果を提示 ・Aは物を買う消費者という立場から考える。 Bは客に物を売る立場からいかに儲かるかを考える。

展 開	<p>A : 家計を預かる立場</p> <p>B : お店の人</p> <p>C : 熊本や東北の被災者</p> <p>D : 国の予算を決める政治家</p> <p>7 それぞれの立場をグループごとに意見をまとめる。</p> <p>8 4つの立場ごとに発表する。</p> <p>9 政府はなぜ消費税を増税しようとするのかその理由を知ろう。</p> <p>10 それぞれの立場の意見を参考に消費税増税に賛成か反対かをもう一度考える。</p>	<p>Cは被災者として今まで以上に税の負担が重く感じる消費者と、早く復興を願う2つの立場から考える</p> <p>Dは予算を決める政治家として税の使い道を決め、運用する立場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成、反対だけでなく理由も発表する。 ・少子高齢化に伴う様々なデータから読み取らせる。 ・理由を言えるように考えさせる。 
	<p>11 本時のまとめ</p> <p>12 署長さんより</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・税金を納めることは、自分たちに返ってくることに気付かせる。

(4) 本時の評価

自分たちの暮らしと税のしくみを結びつけて考えることで、身近な暮らしと政治についての理解を深めるとともに、社会に参画していこうとする態度を持つことができたか。



参考資料



大人は、こんなに納めている「税金」

焼酎「南泉（25度・1.8ℓ）」の場合

代表的な小売価格（税込み）・・・1,482円

酒税・・・450円

消費税・・・109.78円

合計約560円・・・37.8%

税務署に納めているのは、造り酒屋さん（酒税）とスーパー、コンビニなどの小売業者（消費税）、実際に負担しているのは、お酒を飲む大人。（笑）
ビールは、税負担率（酒税と消費税の合計）が42.2%もある。（350ml:代表的な小売価格221円）

たばこ税・・・一口に言っても、3種類ある。ひと箱440円の場合、

たばこ税106.04円、たばこ特別税16.40円 122.44円（国税）

道府県たばこ税 17.2円

市町村たばこ税 105.24円

たばこ税計 244.88円

消費税 32.59円

税合計 277.47円(負担率 63.1%)

揮発油税（ガソリン税） 1リットル150円の場合、

ガソリン税 約57円（揮発油税、石油石炭税）

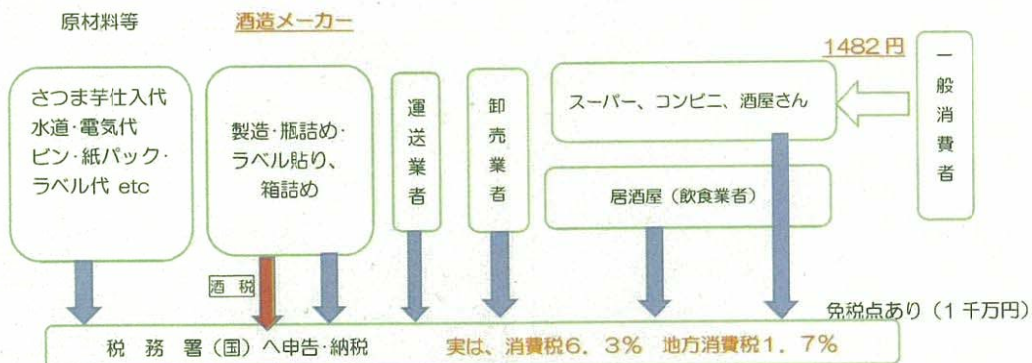
消費税 約11円

計 約68円(負担率 43.3%)

適正飲酒に心がけましょう。（適正飲酒の10ヶ条）
しない させない 許さない 未成年飲酒・飲酒運転

消費税の仕組み（8%）

焼酎製造業の場合、



※ 2019年10月1日から消費税率10%へアップ

※ 同時に、軽減税率制度（消費税率引き上げに伴い、低所得者に配慮する観点から、「酒類・外食を除く飲食品」及び「定期購読契約が締結された週2回以上発行される新聞」が対象）が実施される。

生徒の感想（抜粋）

消費税を上げるのは、今後の私たちにとっても大切なことがわかった。そして税は様々な所で役立っていることがわかった。

税について知らなかったことも、この授業で知ることができてよかった。また、増税のことについても自分の意見を持つことができてよかった。

いろいろな立場から見て、10%でもいいことはあると思った。

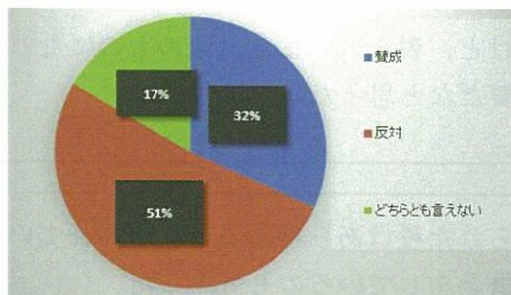
消費税を上げることは、自分のことだけでなく周りのことを考えたりすると考えが変わった。今回の授業で聞いたこと、学んだことをこれからに生かしていきたい。

税についてしっかりと学ぶことができた。増税は反対だったが学習する中で必要だなと思った。

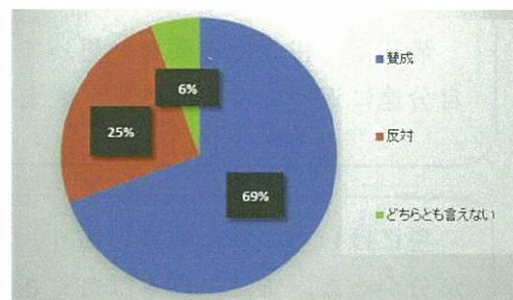
10%にあげることには、良いことや悪いこともあり、どちらかに決めるときは、迷いました。

アンケートの変容

<事前>



<事後>



【平成30年度】

昨年度は、「親子で考えよう租税教室」は試行錯誤の上、2月に実施した。卒業前で、入試に向けて忙しい時期であったが、将来の納税者として意識が高まったようだ。

今年度は早く意識を高めたいと考え5月に実施した。まだ、税について学習しておらず、税の必要性なども理解していない時期に行ったので、理解するのに難しい場面もあった。



生徒の感想（抜粋）

今までは、税金に対してすごく反対でしたが、被災にあった人たちの支援や今この町が平和な理由は税金のおかげかなと思うようになり、税金は大切だなと思いました。

最初は、税金は必要ない思っていたけど、税金は、また、他のものになって、自分達に返ってくると知り、税金は必要だなと思った。

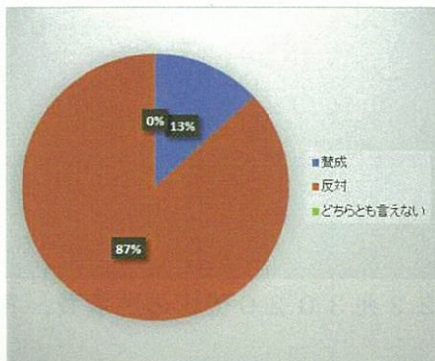
税にはいろいろな種類があり、集められた税はあらゆることに使われているのが分かった。また、日本はたくさんの借金をしているのも分かった。

増税なんて、何のためにするのかわからない。と思ってたけど、いろんな立場に立って考えてみると、増税する意味が分かりました。

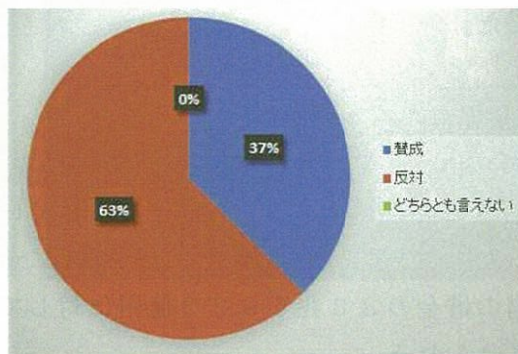
税の役割についてよくわかった。税はやっぱり大切だと思った。だからこそ税金を使う政治はしっかりしてほしい。

アンケートの変容

< 事前 >



< 事後 >



3 家庭教育学級

生徒たちに対して、税の意義と役割について考えさせたり、国民の納税の義務についても理解させなければならない。そのために、生徒たちにとって、身近な納税者である保護者にも興味関心を持ち、家庭でも話題にしてもらいたい。そこで30年度に保護者を対象とした租税教室を家庭教育学級において実施した。



保護者の感想（抜粋）

中学生1人に100万以上使われていることにビックリ！土地に税金がかからないことを初めて知った。医療費についていろいろと聞いたのでよかった。国の借金の33兆6922億円に対して、23兆3020億円の国債費、考えさせられる。

”税金”と聞くといやな気持ちになるのですが、「子どもたちのためにも必要な税金なんだなあ」と再認識できました。今年の確定申告バッチリかも（笑）ありがとうございました。

文教及び科学振興費で、1人の子どもが高校卒業までに1000万円も使用されているということ。何気なく生活していたけど、ありがたいことだなと思いました。

4 職員研修

平成30年2月に種子島税務署から講師を招聘し、租税教育の意義についての講話を行った。後半には、給与明細など参考に税について学び、源泉徴収や控除について学んだ。特に、給与明細を見ながら計算をして、実際に数字を出してわかることもあった。税に関するアドバイスをいただくことで、職員の税に関する理解と意識を高めることができた。

改めて、給与明細を見て、知らない言葉があったり、なぜ引かれているのだろうか、何に使われているのかなど、研修をきっかけに理解でき充実した研修ができたと言った職員も喜んでいました。



5 教科の取組

<国語>

- ・社会科と協力して夏休み課題の「税の作文」の呼びかけや書写などを夏休み前に指導した。

<社会>

- ・租税コーナーで、税に関する話題を取り上げた。



<数学>

- ・テストで、税に関する問題を出題した。

焼酎『南宙』の販売価格1800円の内、税金は消費税と酒税を合わせて37.8%である。このとき、税金分はいくらか。ただし、四捨五入して整数の値で答よ。

- ・夏休みの課題で数学の自由研究を提出するようにしたが、その中に税に関する物もあった。

生徒の作品

研究テーマ (タイトル)
消費税が上がった

南幌子町立南幌子中学校 1年 名前 河野 康生

動機
 学校の自由研究で、消費税が上がった。消費税のことも少し調べた。少し調べた。また、消費税は2019年4月1日から10%に上がる。このテーマにしました。

調べ方 (調べ方)
 1. 消費税とは?
 2. 年々の消費税アップ
 3. 消費税が上がった?

1. 消費税とは?
 税金とは、国や地方自治体などが、商品やサービスに対して課税することです。税金は、国や地方自治体の運営に必要です。税金の種類には、消費税、所得税、法人税などがあります。

2. 年々の消費税アップ
 消費税は、平成元年に導入された。平成元年で、最初は3%だった。平成9年、5%に上がった。平成16年、8%に上がった。平成26年、10%に上がった。今年、10%に上がった。

3. 消費税が上がった?
 消費税が上がると、物価が上がります。生活に支障が出ます。消費税が上がると、物価が上がります。生活に支障が出ます。

結果
 生活に支障が出る。
 年々上がる。消費税。3% → 5% → 8% → 今年10%になる。この上げは、生活に支障が出ると思っている。

感想
 自分も消費税は5%、7%、消費税。こんなことばかりで、物価が上がると、生活に支障が出ると思っている。

参考文献
 2019. 8月 23日 木曜日
<http://yahanilaku.majimok.com/>
<http://h110365.tabohiro.com/2018/02/21/shohizol/>

年	消費税
平成元年	3%
平成9年	5%
平成16年	8%
平成26年	10%
今年	10%

3. 消費税が上がった?
 商品が売れなくなる。買いたくなくなる。つまり、物価が上がる。消費税が8%になると、100円が、108円になる。1% = 100円 × 0.01 = 1円。100円 × 0.08 = 8円。100円 + 8円 = 108円。つまり、100円が108円になる。

また、他の国の消費税も

日本は結構低い方

結果
 生活に支障が出る。
 年々上がる。消費税。3% → 5% → 8% → 今年10%になる。この上げは、生活に支障が出ると思っている。

感想
 自分も消費税は5%、7%、消費税。こんなことばかりで、物価が上がると、生活に支障が出ると思っている。

参考文献
 2019. 8月 23日 木曜日
<http://yahanilaku.majimok.com/>
<http://h110365.tabohiro.com/2018/02/21/shohizol/>

<理科>

- ・理科ではたくさんの実験器具や薬品等がある。もちろん税金でまかなわれていることを自覚させ、いい状態で実験器具を使っているのはこれまでの先輩たちが大切に使ってきたおかげと説明し、これからも大切に使用することを理解させている。

<音楽>

- ・学校で使われている楽器は、高価な物が多く、維持管理費も多い。全て税金でまかなわれていることを自覚させ、大切に使用するよう指導している。

<美術>

- ・レタリングの授業で「税」等の文字を取り上げて作成した。

<保体>

- ・「たばこに含まれる有害物質」、「喫煙と周囲への影響」、「依存症の恐ろしさ」の内容の学習を行っているが、その中で、世界の喫煙の状況や税金との関係についても学習させた。

- ① 世界のたばこの値段は？ トップ10の国
- ② 世界と日本のたばこのパッケージの違い
- ③ 日本のたばこの値段は？
- ④ その中でたばこはどれくらいの税金がかかっているか
消費税、地方税、国、特別税など
- ⑤ 国や地方のたばこ税の収入は？これがなくなると？
税のメリット、デメリットにも触れる

<総合的な学習の時間>

- ・学校農園で焼酎用のサツマイモを育てた。

(6月：植え付け 8月：除草作業2回

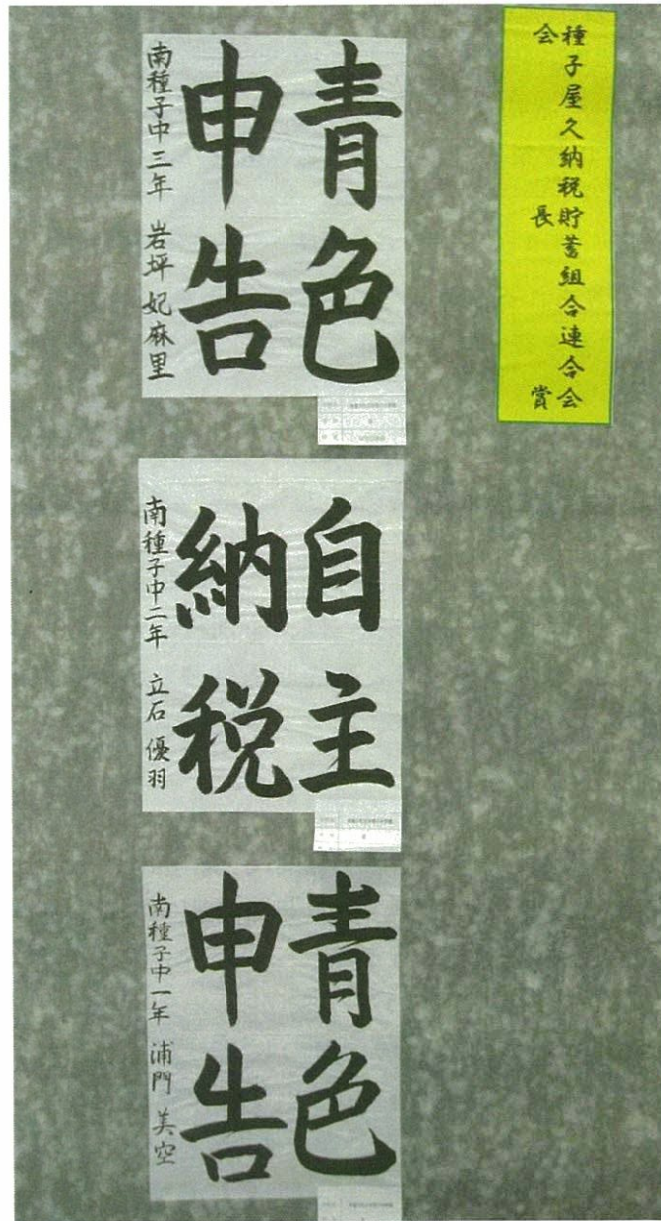
11月：収穫)

- ・今年度の収穫量はまだわからないが、29年度は、出荷用の袋で14袋、約37万円の収入があった。これから焼酎「南宙」が作られ、約200本売り上げた。焼酎にかかる税についても話題にあげ、興味・関心を高めた。



6 生徒の作品

<平成29年度「税に関する作品」：書道の部>



<平成29年度「税に関する作品」：作文の部>

種子島税務署長賞

何も知らなかった。あの日まで

五月下旬、どの学年も大きな行事が重なるか、三年生は職場体験学習がありました。僕は、人を助ける仕事を体験してみたかったので、「特別養護老人ホーム」へ行く事になりました。初日、緊張しながら老人ホームを覗くと、お年寄りの手助けになる道具がいくつもある事に気がつきました。そして、「この車イスや、そこにあるマッサージ機、いろいろな物は誰が買っているんだろう」と疑問に思いました。あまりにもたくさん道具があったので、関係者の方に聞いてみました。すると、「ここにある物は、すべて皆が納めている税金で買っているんです。だから我々も利用者もとても助かっているんですよ。」と、少しうれしそうに答えてくれました。

僕は、そこで初めて知りました。家族が納めている税が、ほかの場所で誰かに必要とされている、誰かを助けている事を。足の不具合の方や、目の悪い方が税金で買った道具を使い助けられている姿を見ると、胸にジーンとくるものがありました。「税って、こんな風に使われているんだ。」少し驚いたけれど、ちょっとうれしかったです。

それから二ヶ月後、租税教室という税について理解する授業がありました。僕の場合、少し興味があったのでメモをしながら聞いていると、驚くべき言葉を聞きビックリしました。それは、何気ない今までの日常は、全て税が無いと成立しないという事です。朝起床し、登校するときも安全に通うための道路や信号が必要です。授業を受ける時も、学校などの教育施設の建設や、机、椅子、教科書が必要です。部活動も大会などが行われる陸上競技場などの施設が必要です。夜、就寝する時も、安全な夜、日々を守る警察や消防が必要です。この全ての生活に税は使われているのです。

最近では、税が何の役割か知らず、税を納めない若者が増えています。

税は自分たちの生活に多く関わっている事を知り、国や地域、自分たちのためにも税を深く考える事が必要だと僕は思います。

僕は、税を身近に考えた事がほとんどありませんでした。「自分とは関係のないもの」そう思っていました。みなさんも最初はそう感じている人が多いと思います。しかし、僕は税の見方が一気に変わりました。

自分は税の役割や使い方を理解しています。そんな人達が少しでも税についての大切さを広める事で、よりよい社会が築けると僕は思います。

IV 研究の成果と課題

1 研究の成果

今回の租税教育研究に当たって、種子島税務署、南種子町役場の方々の、指導と協力をいただき、租税教室を始め、いくつかの取組を実施することができた。「税金はなぜ払わないといけないのか。」「税金は高い」というような考えの生徒も「税金は必要だ」「税金がないと社会が成り立たない」「税金はどのように使われているのか」などという考え方に変わってきた。生徒たちの税に関する興味・関心を高め、税の意義や役割を正しく認識し、理解を深めさせることができたと考えている。また、保護者にも意識を高めてもらうために、授業参観で税について取り上げた。家庭教育学級でも身近にある税について学ぶ機会を設けてもらい、関心が高まったことは成果といえる。

2 今後の課題

2年間の取組を終えて、2つの課題があげられる。まず、税に関する学習の時期と対象者である。1年目の取組において、もっと早く計画を立て、全職員の共通理解を行うことで、さらに租税教育を進めることができたのではないかと考えられるからである。また、租税教室は、全学年で実施したが、授業参観での税の授業は、3年生のみだったので、1・2年生でも取り組めば、もっと深まると考えられるからである。

次に、生徒の税に関する知識を増やすための手立てと興味・関心を持たせるための取組をどのようにしていくか、また、保護者の意識を高めてもらうためにどのように啓発活動を行うかを課題として考える。

3 おわりに

2年間にわたり、租税教育委嘱校として「租税教育を通して、税に関する興味・関心をもたせるとともに、正しい知識を身につけ、社会に貢献しようとする生徒を育成する。」をテーマに研究実践に取り組んできた。これまでの取り組みが少しでも将来の日本を担う生徒たちに正しい税の知識や理解を深めるきっかけになってほしいと願っている。

これまでの取組をふまえて、納税者としての自覚を養い、進んで社会に貢献しようとする態度を育てるために、今後も租税教育を推進していきたい。

最後に、鹿児島県租税教育推進協議会をはじめ、種子島税務署や南種子町役場税務課の方々に親切丁寧に教えていただいたことで、生徒たちの税に関する興味・関心を高め、理解を深めることができた。心から感謝を申し上げます。